

# もっと知りたい

## 武者小路実篤

# なぜいけないの？

実篤記念館では、みんなに  
守ってほしいルールがあります。  
そして、“してはいけないこと”には  
必ず理由があるのです。

いはん  
ルール違反を見つけよう！



実篤記念館は、博物館の仲間です。  
博物館の一番の使命は、作品を大切に<sup>のこ</sup>残して、  
未来に伝えていく役目があるということです。





## 写真は撮らない!

カメラのフラッシュが目に入ると、とてもまぶしいですね。そう、とても強い光なのです。

記念館で展示している作品の中には、水彩画やインクで書いた原稿など、光を浴びると色が変わったり薄くなったりするものがあります。

では、フラッシュを使わなければ写真を撮ってもいい? いえいえ“著作権”という別の問題があります。美術・文学・映像・音楽などの作品を作った人の許可なく、他人が勝手にコピーしたり、画像をパソコンに取り込んで加工したりすることは、法律で制限されているのです。



## えんぴつを使おう!

ボールペン、サインペンなどのインクは、うっかり作品や壁につけてしまったら落ちません。化学薬品を使えば消えますが、紙が傷んだり、変色したりします。

館内で何か書くときには、消しゴムで消せるえんぴつを使いましょう。持っていない時は、閲覧室で借りられますよ。

シャープペンは、芯の先をうっかり折って飛ばしてしまったり、探るのが大変。それに、金属の先っぽがガラスケースや作品に当たったら、傷がついてしまいます。えんぴつの方が安全ですね。



## 食べたり飲んだりしない!

食べたり飲んだりすると、こぼさないつもりでも、細かいカスやしずくが落ちたり、手に残ったりします。においもします。

絵や原稿・本などに大敵の、虫やカビが、寄って来やすくなるのです。

記念館の中では、休憩コーナーにある水やお茶だけを飲むようにしてね! アメやガムも、館に入るときは口から出しましょう。



## 他にはどんなことがいけないのかな? なぜいけないのかも考えてみよう!



正解は、記念館の「ご案内」を見てみよう!